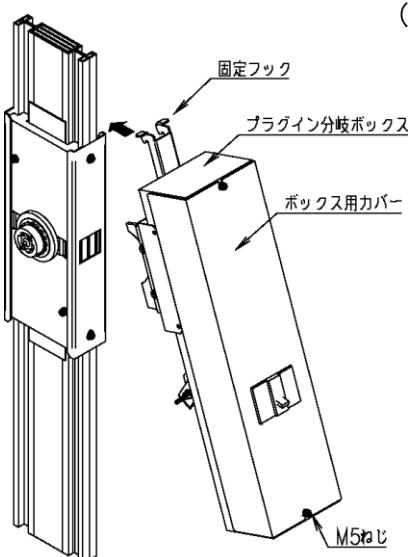


設備工事情報シート	電 气	II-E-10	制 定 改 訂	2008年4月1日 2014年2月1日		
II. メーカー情報	バスダクト (シャフトスター)	共同カイテック編				
1. 目的・概要						
近年、高層マンション、再開発ビルなどにおいて電力需要の増大に伴い電気幹線が注目されている。幹線の敷設材料としては、CVTケーブル、CV-F（フラットケーブル）、バスダクト等が主である。このうちバスダクトについて、共同カイテック株のシャフトスターを紹介する。						
2. 製品のポイント						
		シャフトスターはアルミニウムの帯状導体を絶縁物で被覆しアルミニウム押し出し成型品のケースにおさめたものである。 3線式 三相600A～1200A、単相800A～1500A				
<ul style="list-style-type: none"> (1) プレハブ施工で現場の工程に合わせて施工が可能 <ul style="list-style-type: none"> ・作業の効率化が可能で工期短縮になる ・ケーブルの場合は躯体がある程度完成しないと施工できない (2) 予めプラグインホールを設けずに接続部から分岐が可能 <ul style="list-style-type: none"> ・常時、予備のプラグインホールがあり、将来的に増設が可能 (3) 接続部のプラグインホールから無停電でプラグイン分岐ボックスの施工が可能 (4) 導体及びケースがアルミニウムの為、軽量で施工性が良い 						
3. 接続手順およびポイント						
(1)		(1) 直線ジョイナを本体用側板が直線ジョイナのストップに当たるまで確実に挿入する。この際、パーフェクトボルトを5mm程度緩めると、スムーズに挿入が行なえる。直線ジョイナ取り付けねじ（M5×10）を用いて固定する。更に接続する上部本体を挿入し、同上の取り付けねじを用いて固定する。				
(2)		(2) 直線ジョイナカバーを取り付けねじ（M5×10）を用いて固定する。パーフェクトボルトは、仮締めのままで、全長布設終了後に順次、締め付ける。				
<p>※パーフェクトボルトの締め付けについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規定トルクでボルト外頭がねじ切れ、赤リングが外れる。（施工者によるトルクのばらつきが無い） ・パーフェクトボルトの締め付け終了後、赤プレートを割って取り外す。（緩み止めロック機構がセットされる） ・接続が完了したパーフェクトボルトは青リングのみが残る。（締め付け状態が目視で確認可能） 						

資料

(3)



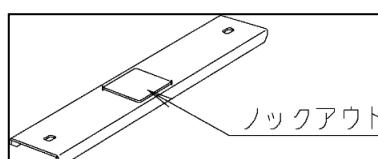
(3) プラグイン分岐ボックスの取り付け手順

直線ジョイナカバーのプラグインホールのノックアウトを内側よりハンマー等で打ち抜く。

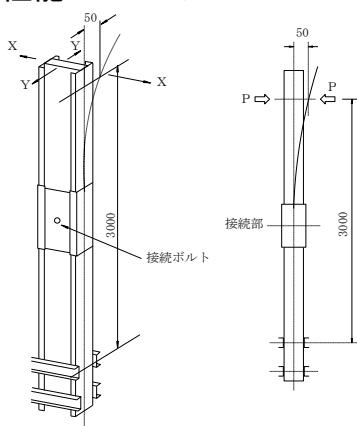
(打ち抜き加工は、カバーを取り外して作業する)

固定フックを直線ジョイナカバーに引っ掛け、固定フックを支点としてプラグイン分岐ボックスを押し込む。

その後、内蔵機器の二次側端子にケーブルを接続する。



4. 性能について



(1) 層間変位について

シャフトスターを2本接続しX、Y方向に50mmの変位を1000回与える試験を行なった結果、異常が無い事を確認した。

(変位勾配1/60)

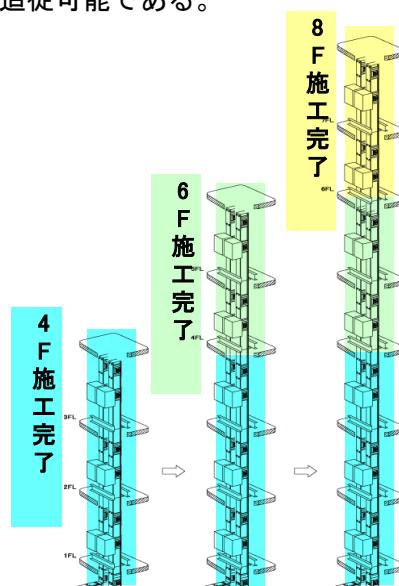
建物は建築基準法施工令82条に層間変位が1/200以内とあるが、バスダクトは1/60の変位に対応できる柔軟性がありなんら支障なく、追従可能である。

(2) バスダクトのプレハブ施工について

シャフトスターはパーツをつなぎ合わせ電路を形成していく。

施工の際は、建築の進み具合に合わせて積み上げ施工ができるプレハブ施工が可能である。

その為、ケーブル施工のような工期終盤での一括施工ではなく、作業員の分散、工期の短縮が可能である。



5. 問い合わせ先： 共同カイテック株式会社

窓口	住 所	電 話 番 号	担 当
営業開発課	東京都渋谷区東2-27-10 TBCビル	03-3409-2333	町田
東京営業所	東京都渋谷区東2-27-10 TBCビル	03-3409-2333	浜辺
大阪営業所	大阪市中央区南本町4-1-10 ホンマチ山本ビル	06-6241-2335	中村
名古屋営業所	名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル	052-218-5630	入澤
仙台営業所	仙台市青葉区本町1-2-20 KDX仙台ビル	022-261-5987	真藤
福岡営業所	福岡市博多区博多駅南1-3-1 日本生命博多南ビル	092-413-4722	楠瀬

共同カイテック株式会社 ホームページ <http://www.ky-tec.co.jp/>